

バイク用 ブースターケーブル

必ずお読みください

本製品を正しく安全にご使用いただく為に、取扱説明をよくお読みになり、十分に理解されるまで作業を行わないでください。

使用用途

本製品はバッテリーのあがったバイクに対し、一時的に救援車のバッテリーから電気を供給する為の電線です。

作業をする前に確認してください

- カブラ式のバッテリーは使用できません。
- 救援車は、バッテリー容量が同じか、それ以上のバイクを選んでください。

	原付等	ビッグスクーター等	ネイキッド・スポーツレプリカ等
バッテリー位置	足元の下、シートBOXカバー内側、サイドカバー内側、フロントカバー内側	シートの下、ステップボードの下、グローブBOX	シートの下、サイドカバー内側

※上記以外の場所に、バッテリーが設置されている場合があります。

△ご注意

- ブースターケーブルによる始動の場合は、正しい順序で接続してください。
- 業務用には使用しないでください。
- 本製品に定められた使用用途以外の目的での使用はしないでください。
- ブースターケーブルによるエンジン始動でエンジンがかからない場合は、補充電をしてください。
補充電をすることでエンジンが始動しやすくなります。
※詳細は使用方法の③～⑤を確認してください。
- 使用方法の③～⑤の作業を連続すると、ケーブルに大電流が流れ大きな負担がかかり、ケーブル・クリップ・クリップカバー等が発熱・発煙・溶解する原因になり非常に危険です。
- 屋内では使用しないでください。
- 電圧(ボルト)の異なるバイクには接続しないでください。
- 接続作業時に、誤接続(取扱説明以外の接続)・ショート(赤クリップと黒クリップの接触)はしないでください。ケーブル・クリップ・クリップカバー等が発熱・発煙・溶解したり、バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。
- 接続作業時に、赤クリップをバイクのボディやフレームに接触させないでください。
- 使用前にケーブル・クリップ・クリップカバーに破損・腐食・異常がないか点検してください。
- クリップは使用中に外れないようしっかり接続してください。
- ブースターケーブル接続後、エンジンをスタートする際は、周辺に人がいないことを確認してください。
- ご使用中、火気に近付けたり引火しやすい物のそばで使用しないでください。バッテリーが爆発するおそれがあり危険です。

使用方法

- ①救援車のエンジンが停止しているか確認する。
- ②ブースターケーブルを正しい順序で接続する。
 - ①赤色のブースターケーブルを故障車のバッテリー⊕端子につなぐ。
 - ②赤色のブースターケーブルのもう一方の端を救援車のバッテリー⊕端子につなぐ。
 - ③黒色のブースターケーブルを救援車のバッテリー⊖端子につなぐ。
 - ④黒色のブースターケーブルのもう一方の端を故障車のバッテリー⊖端子につなぐ。
※ブースターケーブルのクリップが容易に外れないことを確認してください。
- ③救援車のエンジンを始動(スタート)させる。
※エンジン回転を少し高めにしてください。
- ④故障車のエンジンを始動(スタート)する前に、この状態で5分～10分の補充電をする。
※補充電時間が長ければ長いほど、エンジン始動がしやすくなります。
- ⑤故障車のセルスイッチを3秒間押す。エンジンが始動(スタート)しない場合は7秒間以上休止して再度補充電を行う。
※④⑤の作業を10回行っても、エンジンがかからない場合は、ブースターケーブルの使用を中止してください。
バッテリーが完全に上がりエンジンが始動できない可能性があります。
- ⑥故障車のエンジンが始動(スタート)したら、ブースターケーブルが冷却しているのを確認して接続と逆の順序で取り外す。